Summer English Club 7/26～8/3（全５回）

今年もまた夏休み中に小学生のサマーイングリッシュクラブを開催しました。5日間10人の小学生(1年生～6年生)が来て、カナダ人のマットさんとシンガポール人のジョーンさんと一緒に英語を楽しく練習しました。

クラブは「自由に英語を練習しよう」という目的で開催しました。私は子どもたちに間違い等を心配せずに英語を使ってほしかったので、できるだけ気楽な環境を作ってみました。英文を作る練習ももちろんしましたが、ゲームを楽しみながら自分のできる範囲で自由に英語を使ってもらいました。

子どもたちが一番楽しんだ活動は「びっくり箱」の製作でした。牛乳パックと輪ゴムだけで素晴らしいものが作れました。綺麗に飾った子どももいて、みんな喜んで持って帰りました。

この5日間で一番印象に残ったのは子どもたちの英語コミュニケーション力でした。知っている語彙や文法が少ないのに、自分の伝えたいことを何となく伝えられる姿を見てとても感動しました。

Never worry about making mistakes. Enjoy learning English, and just try to communicate the best that you can. See you next summer!

（フィリップ・トレース）

イベント案内

※各イベントとも要申し込み、先着順です。
※諸事情により中止・延期および内容が変更になる場合があります。

後期新規会員も募集中！

ハロウィンパーティー

さぁ、パーティーだ! Yasuに集まれー!!

日　時：10月29日(日)　開場 12：00　開演 12：30～15：00
場　所：コミセンきたの
参加費：【Potluck形式】料理持参（※料理なしの場合）
YIFA会員　500円（※1,500円）
非会員　1,000円（※2,000円）
小学生　700円　小学生未満　300円　1歳未満　無料
（家族参加は大人２人につき子ども１人無料）
定　員：150名　仮装での参加をお待ちしています。簡単な仮装グッズの貸出あり。

クリスマスパーティー

日　時：12月16日(土)　16：00～18：00
場　所：コミセンきたの
参加費：YIFA会員　1,500円
非会員　2,000円
内　容：イギリス風クリスマス料理やゲームを楽しみましょう！（大人向け）
定　員：30名

英語落語寄席

日　時：11月18日(土)
14：00～16：15
場　所：コミセンきたの
出　演：英語落語クラブ笑笑亭
参加費：YIFA会員　無料
非会員　500円
定　員：60名

カルチャー教室

～秋のハイキング～

希望が丘で紅葉狩り

日　時：11月23日(祝)
10：00～15：00（予定）
コース：野洲市役所→希望が丘文化公園
西ゲート→おとめの滝→
かえでの森(日本庭園)→西ゲート
参加費：YIFA会員　無料
非会員　200円
定　員：20名　※昼食、飲み物持参

ワールド ウォッチング

フランスの素顔

日　時：12月３日(日)
14：00～15：30
場　所：コミセンやす
講　師：ムートン・セバスチャンさん
参加費：YIFA会員　無料
非会員　500円
定　員：30名

世界料理教室

韓国編

日　時：2024年1月28日(日)
10：00～14：00
場　所：コミセンきたの(予定)
講　師：ホン・セヒさん
参加費：YIFA会員　800円
非会員　1,200円
定　員：25名

フランス語入門講座

～6回シリーズ～

日　時：2024年1月20日、27日、
2月3日、10日、17日、24日
毎土曜日　10：00～11：30
場　所：コミセンやす(予定)
講　師：ムートン・セバスチャンさん
受講料：YIFA会員　5,000円
非会員　6,000円
定　員：12名（最小開催人数6名）

English Tea Lounge

日　時：2024年3月1日、8日、15日
毎金曜日　10：00～11：30
場　所：コミセンやす(予定)
参加費：YIFA会員　500円/1回
非会員　1,000円/1回
定　員：25名

YIFA MATE

2023年10月　第92号

野洲市国際協会　〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原2100-1野洲市役所　TEL：077-586-3106　FAX：077-586-3139
URL：http://www.yifashiga.org　E-mail:yifa@gaia.eonet.ne.jp

イーファメイト　発行日：令和５年10月16日　編集：広報部会

YIFA日本語教室

日本語スピーチ大会

9月10日に“2023YIFA日本語スピーチ大会”を開催しました。昨年、部会内で始めたミニスピーチ大会を今年からは公開の大会にしました。野洲ロータリークラブの協賛もいただき、少し規模が大きくなり、参加者は約50名でした。しかし大会のコンセプトは変わらず、**“気軽に、楽しくそして自由にスピーチしよう！”**です。いわゆるスピーチコンテストとは違い、スピーチを競い、順位付けするものではありません。日本語学習者に、日本語でスピーチを体験できる場を提供することを目的としています。日本語で原稿を書き、指導者のアドバイスを受け、何度も練習する。その努力は、彼らの日本語を向上させ、また大きな自信につながると思います。今回、7名がスピーチを行いました。簡単にその内容を紹介します。

- ド ティ トウエット（ベトナム）**「“ありがとう”に変わる言葉」**
  来日した当初は想像以上に言葉が通じず悲しい思いをしました。しかしボランティア教室に出会い、日本語の勉強だけでなくたくさんの友だちができ精神面でも成長した自分を語ってくれました。
- ワラ ハミッド（スーダン）**「はじめまして」**
  来日わずか1ヶ月です。まったく0からのスタートで、このスピーチ大会に挑戦しました。彼女の勇気に聞き手は驚きました。
- 平野 ヴァネッサ（オーストラリア）**「心の変化」**
  約10年ぶりに母国オーストラリアに戻ります。少しずつ日本人化して、3割オーストラリア人、7割日本人の心を持っている彼女が、ホームタウンで受ける逆カルチャーショックとは？彼女の続編が聞きたくなります。
- 宮本 ナン シュエイン（ミャンマー）**「母国への思い」**
  来日14年、日本で家庭生活を送っています。いま困難な状況にあるミャンマーから余儀なく出国した同胞に、それぞれの場所で頑張ってほしいとエールを送っています。そして母国料理の番組をYouTubeに投稿しています。
- ジョン リー（シンガポール）**「立ち往生」**
  日本のお経を初めて見てびっくりしたそうです。漢字で書かれているため意味がわからないのです。そこから仏教と日本の歴史に興味を持ちました。“立ち往生”と言う言葉をおもしろく語ってくれました。
- グェン ティ タン（ベトナム）**「笑顔の効用」**
  父親を亡くした悲しみで、笑顔をなくしました。別人になったような彼女を見て、周りの人は心配しました。しかしそれでは駄目だと気付き、smileで元気を取り戻しました。そしてその力を活用すればポジティブに生きていけることを知りました。毎朝、鏡の前に来て笑顔で自分にも挨拶しています。
- ドー ティエン クオン（ベトナム）**「カナシミの役割」**
  人間のさまざま感情の役割を語ってくれました。ヨロコビ、イカリ、ムカムカ、ビビリそれぞれ役割を持っていると言います。しかしカナシミにはそれが見つからない。でもあったのです、それは周りの人から共感を引き出す役割です。

（敬称略）

いずれのスピーチも感動的で素敵でした。私たちが忘れている何かを、呼び起こしてくれるようでした。発表者の皆さんありがとうございました。そして、このスピーチ大会を応援していただいた皆さんに、実行委員会スタッフ一同、心より感謝を申し上げます。

（久保田　隆）

※スピーチの様子を動画でご覧いただけます。

ワールド ウォッチング

驚きの国 ナイジェリア

5月28日(日)ワールドウォッチングが開催され、アラオ アデイェミ ジョンさん、アラオ多枝子さんご夫婦にナイジェリアを紹介頂きました。ナイジェリアってどんな国でしょう?人口2億人、ギニア湾に面する西アフリカの大きな国、公用語は英語、ヨルバ人、ハウザ人、イボ人等が構成する連邦共和国…。いえいえ、そんな事ではなくて、どんな人たちが、何を考え、どんな生活をしているのか、それが知りたくて参加しました。

アデイェミさんは藍染やろうけつ染めのアーティスト、そしてヨルバの歌や踊りのスペシャリストです。藍染の大きな綿布は豊饒な自然の香り(この香りが魔除けになるという)がし、伝承に基づく不思議な模様をモチーフとしていて、とても高価なもの。会場ではアカラというスナック(黒目豆、ササゲ豆を捏ねて揚げたもの)をハバネロのソースをつけて頂きました。これってアフリカの味?辛いけれど不思議な美味しさです。最後は、アデイェミさんが衣装をつけて踊り歌いながら登場され、一気に会場はヨルバ族の祭りのような熱気に飲み込まれました。

ナイジェリアって、川の精霊やたくさんの神様と暮らす夢の国なんです。ここでは語り尽くせない、人生で一度は必ず行ってみたい、そんな国です。

(古谷)

English Tea Lounge

English Tea Party 改め、イギリス風アフタヌーンティの雰囲気を楽しみながら英語に親しむEnglish Tea Loungeが、8月4日、18日、25日にコミセンやすで開催されました。

“この夏のプラン”などの身近な話題についてネイティブスピーカーや参加者同士で語り合った後、数名のグループでテーブルを囲み、インドネシアやアメリカ、イギリスの手作りクッキーとオーソドックスな英国紅茶やシンガポールのスパイシーな紅茶を戴きながら、“お茶談議”に花が咲きました。司会者のフィルさんが作られた本格派のスコーンも大好評。バター味のさっくり、しっとりとした小麦のうまみがたまりませんでした。

英会話を楽しむだけでなく来日した経緯や日本でのユニークな経験も聞けるこのパーティーは、多様な視点や感覚に触れることのできる絶好の機会となりました。参加者の年齢はもちろん、英語のレベルも、思う事や感じることも本当に様々です。いろいろな話題が楽しめ、あっという間の1時間半でした。参加者の中には、近々結婚を控えているネイティブスピーカーから、「結婚生活の秘訣を聞かれたよ」という人も。

来年3月にも同じ会の開催を予定しています。今回惜しくも参加できなかった方、次回はぜひ話をお聞かせください。これから少しだけ英語を学びたい方や学生さんも大歓迎です。

Why don’t you come and chat over a cup of tea?

あの人 この人 世界の国から

今回は、YIFA協賛店であるベトナム料理店「フォー ウェット」のオーナー、ドゥティ ランさんに話を聞きました。

2017年、結婚を機に夫の赴任先である石川県に来日したランさんは、2018年、夫の転勤に伴い滋賀県草津市に引っ越してきました。「石川から草津まで、家族を乗せて4時間、運転をしてきたのよ」「自動車の免許は英語で受けました」と快活に話します。草津ではスーパーにベトナム料理の屋台を出店。滋賀県在住のベトナム人のために本格的なベトナム料理を提供したくて、昨年10月に野洲市に店をオープンしたそうです。

日本に来て困ったことはないかと聞くと、「日本語！」と即答。日常会話には困らないだろうと思えるほど流暢に話すのですが、やはり漢字交じりの日本語は難しいとのこと。中国語も話せるのですが、漢字の「読み」が難しいのだそうです。

ランチで食べたベトナム南部の料理

「プン ドゥ マム トム」（豚肉のリブロース焼きなど）と「プン ティッ ヌオン」（甘辛いたれをかけて食べるつけ麺）です。どちらも日本人の口に合うマイルドな味でおいしかったです。

来日前に日本語の通訳をしている夫から「みんなの日本語」の3巻まで教えてもらい、来日後は日本語の勉強にもなるようにとコンビニエンスストアで働き、仕事が終わってから週2回、日本語教室に通ったと言います。現在は、YIFAの日本語教室で勉強中です。5歳と3歳の子どもは保育園で日本語、家ではベトナム語を話す完全なバイリンガル。「子どもが見ているテレビで覚えた日本語もあります」とランさん。また、日本語の勉強のために毎日日記を書いているのだそうです。

レストランの経営、子育て、家事と毎日忙しいのですが、畑で野菜も栽培していると写真を見せてくれました。結構広い畑に、ミント、バジル、パクチー、セロリ、トウモロコシなどが並びます。

将来は、外国人支援のためのコンサルティングなどやカラオケ店、美容室、エステサロンなどの経営もしてみたいと夫と話していると言います。ベトナムでは税理士として3年間働きました。美容師の資格も持っています。その経験を生かして将来さらに大きなビジネスをしたいと心膨らませるランさん。前向きでエネルギッシュなランさんなら、きっとその夢を叶えられるのではないかと思えたインタビューでした。

ドラゴンカヌー&BBQ

8月20日、お盆の後でも照りつける太陽のもと、琵琶湖あやめ浜にてドラゴンカヌー大会が開催され、38名の参加者の中からチームを組みレースに参加しました。参加者の半数がベトナム、シンガポール、カナダ、中国からの外国籍の方々で、急ごしらえ編成チームながら、皆で力を合わせてレースに挑むことができました。

結果は一般男性Aチームが残念ながら予選敗退、Bチームが7チーム中4位、女性チームは3チーム中3位入賞の健闘でした。レース後は楽しいバーベキューを囲み、また琵琶湖に入り水遊びを楽しむ参加者もいたりして、世代を超えた国際交流の場となりました。

YIFA YIFA YIFA 私たちは国際交流事業を応援しています YIFA YIFA YIFA

ゼラチンとコラーゲンの専門店
株式会社ジェリフ
Tel:077-588-3000/Fax:077-588-3004
〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅1013
公式サイト ショッピングサイト インスタグラム YouTube

世界の文化を楽しもう

子どもたちに異文化に触れてもらおうと、6月24日(土)、野洲図書館のホールでこのイベントを開催しました。

最初に私から野洲にいる外国人について少し説明をした後、子どもたちは8つの国（イギリス、日本、中国、オーストラリア、ブラジル、ボリビア、イエメン、カナダ）のコーナーを回って色々な活動をしました。オーストラリアコーナーではカーリーさんと一緒に紙ブーメランをシールで飾ったり、ボリビアコーナーではミゲルさんと一緒に楽器で音楽を作ったりなど、各コーナーで色々な遊びをして楽しみました。各コーナーの活動ができたらチェックシートにスタンプを押してもらい、イベントの終わりにそのシートを提出すれば駄菓子の詰め合わせと交換できます。珍しいおもちゃや外国のものに触れることのできる貴重な体験をした後、小さなプレゼントを手にして、子どもたちは笑顔で帰っていきました。

このイベントは今回が初めての開催だったので、どうなるかわかりませんでしたが、50人程の子どもたちと保護者やスタッフの総勢80人以上でとても賑やかな楽しい時間を過ごすことが出来ました。NHKの取材もあり、滋賀県の皆さんにこのイベントやYIFAの交流活動について知ってもらうことができ、大変有意義な活動になりました。

（フィリップ・トレース）

※イベントの様子を動画でご覧いただけます。

NHK　YouTube

英語で観光ガイド

5/17～25（全5回）

昨年よりYIFAの英語サロンで週1度ヴァネッサさんのレッスンを受けるなか、YIFAの催しのご案内を頂きました。数年海外で勤務し、帰国後に転職、京都で観光タクシーを10年弱勤め、下手な英語で外国人もたまに案内しました。滋賀の観光地を案内することは正直少なかったですが、今回の内容に興味を抱き参加することにしました。

講師はYIFAのフィルさんと英語講師のマットヘロンさん。参加者の笑いとリラックスできる会話で、私の下手な英語返答もうまくフォローを受け、さらに上級者を飽きさせず流石の進行です。レッスンではスクリーンに「凸凹した高原」が映し出され形容詞表現を聞かれました。正解は‘undulating’-う～む、そうか。「緑の山々」‘lush’-納得。「きれいな富士山」‘dramatic’-え、そうなんか。日本語英語でない感覚が印象に残りました。自分の推薦を返答するレッスンでは、フィルさんから「どこ行きますか?」と尋ねられ、最終地が前職で案内した日吉大社や坂本近辺のお寺になりました。特に阿闍梨様の話は興味深い様子で、この人はこの方向に興味ありと現役の時の思考が蘇りました。

海外の方がミシガンに乗り、琵琶湖テラスから湖を眺め、彦根城、忍者屋敷を観て、信楽タヌキを買い、近江冨士を見ながら鮒ずしと野洲米を食べるとどんな英語表現が出てくるか。国や人による英語表現や文化の違いを感じ取れれば、「観て光る」発展に繋がるのかもしれません。是非またこのような楽しみの機会をお願いします。

（石丸）

子どもと作る世界料理教室

中国編

7月9日(日)コミセンきたので中国遼寧省出身の包　連生さんを講師に迎え、子どもでも作れる簡単な中国の家庭料理を教えてもらいました。

水餃子：今回は牛肉ミンチとセロリの餃子、豚肉ミンチと白菜、白ネギの餃子の2種類の具を作り、皮は粉から作り具を包んで茹でました。セロリや白菜はお金がたくさんもらえるようにという意味があり、餃子の包み方も様々な形や意味があるようです。大きかったり、小さかったり、具がはみ出ていたり、子どもながらに苦戦しながらいろいろな餃子ができあがりました。

ジャガイモの細切り炒め：豚肉を炒め、白ネギ、生姜、ニンニクを加えて香りを立たせたところにジャガイモと人参の千切りを加えて、塩と五香粉で味を調え、ごま油を回し入れて炒めます。途中で火を止めたり弱めたりせず強火で炒めると肉の臭みが残らないそうです。

干豆腐のサラダ：干豆腐は硬めの豆腐を圧縮・脱水し、干して作られた布状の豆腐です。よく洗って細切りにし、キュウリと人参の細切りとともに、ニンニクと白ネギのみじん切りと醤油、ごま油で和えました。

トマトと卵のスープ：ニンニクを炒めたところにトマトを加えて炒め、水と塩を加えます。沸騰したら溶き卵を少しずつ注ぎ、砂糖とコンソメ、ごま油を加えて煮立てたら完成です。

食後には、中国の故郷や中国料理について話を聞きました。春節には家族で集まっていろいろな料理を作るのでみんなが料理上手。包さん自身も8歳から弟と一緒に料理をしていたそうです。子どもたちからの質問に答えたり、9年前に来日したと聞き「僕が生まれた時やん!」と話したり、和気あいあいとした家庭的で楽しいひと時を過ごすことができました。

中学生の職場体験（野洲北中学校2年生）

私はこの職場体験を通して「人とつながることの大切さ」について学ぶことができました。英語サロンでは上手く英語で思いを伝えられないところもあったけれど、言葉以外にも雰囲気や表情、動きで思いや考えを伝えることができました。また、日本語教室では外国の方に漢字や文章の作り方など日本のことについて教えることを手伝い、先生たちがジェスチャーや英語を使って意味を伝えようとしている姿がすごいと思いました。私はこの体験を通して、人とのつながりや関わりの大切さを実感できました。また、人と楽しみながら話すことで本人やまわりの人に笑顔が広がっていくということが素敵だなと感じました。この職場体験で学んだことを生かして様々な文化をもった人たちと積極的に関わって、色々なことに興味をもっていきたいです。

（松永　千紗）

6月7日から1週間の職場体験で英語サロンや日本語教室に参加しました。私が英語サロン、日本語教室で感じたことは、日本語や英語に関わらず外国語を覚えるのが難しいことです。また、野洲図書館で開催する「世界の文化を楽しもう!」の準備もしました。掲示を作ったり、打ち合わせ、下見に行ったりと初めてのことばかりでした。

私は、職場体験に来るまで、野洲市国際協会のことをよく知りませんでした。ですが、職場体験を通して、とても大事な場所だと実感しました。外国の方には日本に住むためのサポートをし、外国に興味のある方には外国のことを紹介します。国際協会は人と交流して、楽しく過ごすための場所だと思います!

（中島　百咲）

YIFA YIFA YIFA 私たちは国際交流事業を応援しています YIFA YIFA YIFA

森野内科医院
〈診療時間〉午前9時－12時・午後5時－7時
〈休　　診〉木曜・日曜・祝日（火曜・土曜 … 午後休診）
JR野洲駅北口から北へ徒歩3分
野洲市北野1丁目19-33
TEL（077）587-3636

野洲市金融協議会
滋賀銀行　滋賀中央信用金庫
関西みらい銀行　JAレーク滋賀